授業科目	子育て支援					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	菅原　航平						
授業概要	子育てに関する相談援助の意義や理論を理解し、保育士の専門性を活かした子育て支援の実践的な方法と技術を習得するため、グループワークなどの演習を中心にして具体的に学んでいく。						
授業形態	講義 演習（グループワーク）			授業方法	GoogleClassroom を活用し資料配布や課題提出等を行う。 一部 Youtube 等を活用したオンデマンド授業を実施する。なお、実施回や内容は実習期間や悪天候による 休講等の調整ため変更の可能性がある。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的について説明できる。 2. 保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例などを通して具体的に理解し、実践することができる。 保育士の行う保護者に対する支援の特性と展開について説明することができる。また、一般的な子育て支援の内容と方法及び技術について説明できる
理想的レベル	保育士の行う保護者に対する支援の特性と展開について、保育士の専門性と関連付けながら例示することができる。また、様々な場や対象に即した子育て支援の内容と方法及び技術を活用した実践を構想することができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	20%	授業内容に関する多肢選択や記述テスト
レポート	25%	中間・期末レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	課題の報告等
レポート外の提出物	40%	予習課題、授業内の課題、毎回の感想・質問等
その他	05%	授業態度等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	CH21317J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
授業外での課題への取り組みや授業内容の復習・資料整理など	1

授業計画	
第 1 回	子育て支援で学ぶこと、学び方

	子育て支援とは何かやそこでの保育者の専門性について理解して、授業の概要や到達目標を説明することができるようになることを目指す。
第 2 回	子どもの保育とともに行う保護者の支援 子育て支援の歴史や保護者の力を引き出す方法について学び、保育士の行う子育て支援の特徴について説明できるようになることを目指す。
第 3 回	日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成（オンデマンド） 保護者の保育への参加や保護者と保育者が相互理解を深めるための方法を学び、保護者との相互理解を図る方法について説明することができるようになることを目指す。
第 4 回	保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解（オンデマンド） 事例から保護者の気持ちや支援ニーズに気づくための要点を学び、支援ニーズに気づくための要点について説明できるようになることを目指す。
第 5 回	子ども及び保護者の状況・状態の把握（アセスメント） ジェノグラムやエコマップを用いるなど子どもや保護者の状況を整理する方法を学び、子ども家庭のアセスメント方法について説明できることを目指す。
第 6 回	支援の計画と環境の構成 支援の計画の作成の流れやニーズ、目標、支援方法など計画に必要な項目を学び、支援の計画に含む必要のある事項について説明できるようになることを目指す。
第 7 回	支援の実践・記録・評価・カンファレンス 支援についての多面的な評価の必要性や実践、評価に役立つ記録の取り方について学び、支援の評価について説明することができるようになることを目指す。
第 8 回	職員間の連携・協働 保育実習の際の職員間の連携・協働の具体的な場面・方法について振り返り、・職員会議（カンファレンス）の重要性について学び、子育て支援で求められる職員間の連携・協働について説明することができるようになることを目指す。
第 9 回	社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働（オンデマンド） 社会資源や関係（専門）機関との連携について学び、子育て支援の際に活用できる社会資源について説明することができるようになることを目指す。
第 10 回	保育所等における支援 保育所に通っている子ども・家庭への支援について、事例をもとにニーズや支援方法について学び、保育所に通っている子ども家庭への支援について説明することができるようになることを目指す。
第 11 回	地域の子育て家庭に対する支援と多様な他者と関わる機会や場の提供 地域の子育て家庭に対する支援や保護者や子どもが多様な他者と関わる機会や場の提供について学び、地域の子育て家庭に対する支援について説明することができる。
第 12 回	特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援 特別な配慮を要する子ども家庭や家庭環境・養育態度が子どもへに与える影響と保育者・園として配慮する必要のあることについて学び、特別な配慮を要する子ども家庭に対する支援について説明することができるようになることを目指す。
第 13 回	虐待の予防と要保護児童等の家庭に対する支援（オンデマンド）

	虐待の予防とハイリスク家庭への支援や・親子関係を構築・再構築するための支援について学び、虐待の予防について説明することができるようになることを目指す。
第 14 回	多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解 貧困家庭、外国にルーツをもつ家庭、家族の疾患、不適切な養育など様々な支援ニーズに対する担任保育者としての支援について学び、子育て家庭の多様な支援ニーズをについて説明することができるようになることを目指す。
第 15 回	まとめ 保育所保育指針（幼保連携型認定こども園教育・保育要領）における子育て支援や保育者の専門性と保育所（認定こども園）の役割についてまとめ、保育者が行う子育て支援の内容と方法の要点について説明することができるようになることを目指す。
テキスト	西村重稀、青井夕貴（編）　『新・基本保育シリーズ 19　子育て支援』中央法規 あわせて、LMS に資料をアップロード（または、プリントを授業の時に配布）します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	保育所保育指針・解説　（平成２９年３月告示　厚生労働省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領・解説　（平成２９年３月告示　内閣府　文部科学省　厚生労働省） 他、必要に応じて授業内で紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	学習相談：授業終了後及びメール等で適宜 学習成果のフィードバック：課題などは授業内で返却し（LMS での課題や最終回の課題等を除く）、成果や課題について授業内で取り上げてコメントします。
学生へのメッセージ・コメント	子ども家庭福祉や保育原理で学んだ子育て支援の内容、社会福祉で学んだ相談援助に関して復習しておくとともに、子ども家庭支援論や保育実習Ⅱ・Ⅲなど同時期に開講されている科目と関連付けながら学ぶことが望ましい。 時間外学習については、テキストや配布資料等を参考にして各自積極的に取り組んで下さい。 保育実習等の際にも子育て支援の視点を大切にしながら理解を深めていって下さい。